制作上の注意点

1. 混ぜると剥離　絵の具は、ターナー色彩の「テントアート」だけを使ってください！

JAM が提供しているビニール系のキャンバス地に適合する絵の具は、ターナー色彩の「テントアート」だけです。**他の水性アクリル絵の具を混ぜると、絵の具が定着せずに、絵が剥がれてしまいます。**

ＪＡＭに送られてきた絵の中には、他の絵の具を混ぜたために、その部分がボロボロと剥がれている作品がいくつかあります。それらの作品は展示することができません。生徒の想いを大事にするためにも、**他の絵の具を混ぜないようにご注意下さい！**
色が足りなくなった時にはＪＡＭにお問い合わせください。

2. よく伸び、すぐ乾く絵の具　絵の具は、少量ずつ出して使いましょう！

「テントアート」は非常によく伸びる絵の具です。そのままでも使えますが、**水で少し薄める**とさらによく伸び、少量で広い面を塗ることができます。

また、すぐ乾くので、パレットに出したままにすると乾いて使えなくなります。容器から直接絵の具をパレットに移すと、多量の絵の具が出て無駄になり、絵の具が足りなくなってしまいますので、**小さなスプーンで少しずつパレットに出して使いましょう。**

提供している絵の具セットで１枚の壁画を描くのに充分な絵の具の量がありますが、**使い方によっては絵の具が足りなくなりますので、ご注意下さい！**

3. 色の混色の指導をお願いします！

基本色から様々な色を作る指導をお願いします。

混色する時の注意として、例えば、水色を作る場合、たくさんの青を出してから白を混ぜると、色を薄くするために多量の白が必要になり、最終的に白色が足りなくなります。白に青を少量ずつ混ぜて色を作るなどの指導をお願いします。

4. 厚塗りはしないように！

厚塗りは絵のひび割れの原因となります。展示のためキャンバスを折たたんだり広げたりする時に、ひび割れた部分が剥がれますので、厚塗りをしないようにご注意下さい。

5. 絵の具は、一旦乾くと取れません！

服に付いた絵の具は取れません。汚れてもいい服で描きましょう！

絵の具が付いた筆もそのまま放置すると筆が固まって使えなくなります。水につけておくと固まらずにずっと使えます。使い終わった後は、しっかり洗いましょう。

6. 完成後、絵をよく乾かしましょう！

絵が完成したら、**３～５日間（季節・天気によって）広げて充分乾かしましょう！**
完成したら作品をすぐにどこかに展示するというのも良いアイデアです。

描く時に用意すると便利なもの

● 絵筆・パレット

＜筆＞　絵のデザインや細かさに合わせて、丸筆・平筆、太・細を用意しましょう。大きなキャンバスですが、筆は普通の画用紙に描く太さのもの、８号～１６号が使いやすいです。また極細２号が人の顔や線を描く時に便利です。

＜パレット＞　食品のトレーが代用出来ます。

＜スプーン／割箸＞　絵の具をパレットに乗せるのに、アイスクリームなどに付いている小さなスプーンが便利です。

● バケツ・水入れ

＜バケツ＞　絵の具を薄めるのに使うきれいな水のバケツと、汚れた筆を洗うバケツが必要です。

＜水入れ＞　ペットボトルを半分に切った水入れをいくつか用意しておくと便利です。

●ブルーシート

床の汚れ防止に、ブルーシートを敷いておきましょう。

●雑巾・新聞

失敗した部分を拭き取ったり、汚れた道具や手を拭いたりと、重宝します。多目に用意しておきましょう。

便利な豆知識　**雑巾のこんな使い方！**

小さく切った布を筆の代わりに使います。布に絵の具を付けてキャンバスに擦りつけるように色を伸ばすと、背景塗りの時など広い面に薄い色を塗りたい時に、見事なほどうまく塗れます。

★完成したら、裏にサインしましょう！

制作者のサインを入れましょう！描いた人全員がアーチストです！

以下を、キャンバスの裏に、油性マジックで明記してください。
【注意】あまり太いマジックを使うと表に響きますので注意していくください。

①テーマ　②制作年月日　③制作場所（学校名と住所）
④制作グループ名（何年何組）と人数　⑤一人ひとりの名前のサイン